



徳島大学
The University of Tokushima

豊饒な吉野川を持続可能とする共生環境教育

環境教育は教養教育、環境科学は総合科学である。人文・社会・自然科学の分野を総合・俯瞰する考えに基づく環境教育を推進する。20世紀の飛躍的な物質文明の発展の陰で忘れつつある精神文明を取り戻す。人と川との関わり、また、先人達が築き上げてきた歴史・文化などを、後世に伝承し、新しいものを再発見する。
「温故知新」のプログラム

HESDフォーラム2008 (H20.12.13 立教大学)

徳島大学
The University of Tokushima

取組の概要(背景)

地域再生・経済活性化のためには、インフラの整備や企業活動が不可欠

↓

開発によって引き起こされる環境破壊は深刻な問題

↓

徳島県民が愛する母なる吉野川は、良質で豊富な水量を湛え、豊饒な恵みを我々に与えている。しかし、水源である山地は、放置された状態となっている所が多く、下流域である徳島・鳴門市内の河川の水質悪化は大きな問題である。

HESDフォーラム2008 (H20.12.13 立教大学)

徳島大学
The University of Tokushima

取組の概要と育成する人材

「吉野川流域に俯瞰的に焦点を当て、豊かな自然環境保全と持続可能な地域発展が共存共栄するために、地域と連携した適切な環境アセスメントを行うことができる人材を育てる環境教育を展開」

単なる知識の取得や理解にとどまらず、人間と環境との関わりについての正しい認識に立ち、自ら責任ある行動をもって持続可能な社会づくりに主体的に参画できる人材の育成
具体例; 市民・NPOの育成、環境行政に携わる人材、企業の環境活動に携わる人材等

HESDフォーラム2008 (H20.12.13 立教大学)

徳島大学
The University of Tokushima

持続可能な開発のための環境教育(ESD)カリキュラム

総合人間学プログラム (学部学生全員: 学部共通科目)

体験型基礎ゼミ (2単位)
科学と人間 (2単位)
大学と社会 (2単位)
健康と福祉 (2単位)

} 8単位

↓

発展的環境総合プログラム (約30名: 自然システム学科中心)

物質・環境コース開設科目 (6単位以上)
新設: 流域圏環境物質論を含む
生命・環境コース&教理・情報コース開設科目 (6単位以上)
新設: 流域圏環境生態学を含む
人間社会学科開設科目 (6単位以上)
新設: 吉野川社会構造論・IIを含む

} 20単位以上

物質・環境コース開設科目	生命・環境コース&教理・情報コース開設科目	人間社会学科開設科目
放射線科学 化学環境情報学 化学環境システム学 天体環境科学 地球環境情報学 地球環境情報学 環境分析科学	環境生物学 環境情報科学 生体化学 環境化学 環境学 環境学 数理科学特論 環境生物学	環境社会学 環境社会学研究 ポスター・論議 環境社会学研究 空間情報科学 環境デザイン・ツール 後立地開発 環境社会学 環境社会学研究 環境社会学
6単位以上	6単位以上	6単位以上

↓

持続可能な開発のための環境教育(ESD)カリキュラム修了

HESDフォーラム2008 (H20.12.13 立教大学)

徳島大学
The University of Tokushima

徳島大学総合科学部におけるESD

総合人間学プログラム(学部学生全員対象)

・学部共通科目として授業提供

265人一斉講義(既設科目)

基礎ゼミ(既設科目・必修)

現代GP体験ゼミ
現代GP環境教育プログラム

→ 教養教育としての
環境教育版に内容変更

→ 一部を体験ゼミとして実施

→ 共に新設、現代GP環境教育プログラムは、環境教育に即した公開セミナーの単位化

HESDフォーラム2008(H20.12.13 立教大学)

徳島大学
The University of Tokushima

環境教育版「科学と人間」

1. わが心のふるさと吉野川-吉野川の自然を守る住民運動を中心に(佐野勝徳・心理学)
2. 四国の地質と吉野川(石田啓祐・地質学)
3. 吉野川流域の地形環境(古田昇・徳島文理大学文学部教授)
4. 防災とGIS(地理情報システム)-来るべき東南海地震に備えて-(山田博幸・防災科学技術研究所研究員)
5. 人々の暮らしと吉野川(田中耕市・地理学)
6. 徳島県の植物の多様性(山城考・植物分類学)
7. 剣山系の植物(NPO法人剣山クラブ)
8. 徳島県の野生植物の保全(徳島県立博物館)
9. 吉野川交流推進会議について(国土交通省四国整備局徳島河川国道事務所)
10. 環境問題を物理からの視点で考えよう(小山晋之・物理学)
11. ダイオキシシンとプラスチックリサイクルの問題について(三好徳和・化学)
12. ゴミ問題250人大ディスカッション大会

HESDフォーラム2008(H20.12.13 立教大学)

徳島大学
The University of Tokushima

19・20年度実施の現代GP体験ゼミ(新設)

吉野川体験教室(前期2単位集中・矢部)

吉野川の水環境と四国山地・阿賛山脈の成り立ち
四国山地の成り立ちと豪雨・斜面災害(前期2単位集中・西山他)

吉野川河口干潟における生態観察とその恵みについて(後期1単位・大橋他)

吉野川源流の森保全活動(後期1単位・三好)

徳島を知る、吉野川を通して 日本人の視点・留学生の視点(後期2単位・上田<留学生センター>)

HESDフォーラム2008(H20.12.13 立教大学)

徳島大学
The University of Tokushima

人文科学系の体験ゼミ(既設の基礎ゼミ)も多数実施
歴史学、日本語学(方言学)、考古学等

社会科学、特に地域科学系を中心に体験型実習を実施
中山間地域の活性化や地域まちづくり等

公開セミナーも、歴史文化や中山間地域活性化のテーマでいくつか開催

HESDフォーラム2008(H20.12.13 立教大学)

徳島大学
The University of Tokushima

2006年度第1回環境科学教育フォーラム in 徳島

河川流域の歴史と文化を探る 吉野川の歴史・文化の理解に向けて

「絵図に描かれた江戸時代の川」 小野寺 淳(茨城大学教育学部教授)
「伝説からの河川環境論」 野本 寛一(近畿大学文学部教授)

2007年度環境科学教育フォーラム in 徳島

吉野川源流の森をまもり、流域の多様性をまなぶ

第2回テーマ「森林の再生、山村の未来」

「もう一つのニッポン・山村の歩む3つの道」 田中淳夫(森林ジャーナリスト)
「里山の風景をつくる、まちに森をつくる」 野口政司(建築家)

第3回 テーマ「吉野川の自然・文化・歴史にみる地域差」

「吉野川のなりたちと四国山地の生い立ち」 石田啓祐(徳島大学教授・地質学)
「GIS地図から読み解く吉野川」 平井松午(徳島大学教授・歴史地理学)
「吉野川流域における農耕文化の成立・展開・地域性について」
中村豊(徳島大学埋蔵文化財調査室助教・考古学)
「吉野川流域における方言の動態と地域差」 岸江信介(徳島大学教授・方言学)

HESDフォーラム2008(H20.12.13 立教大学)



これからの環境教育について

HESDフォーラム2008(H20.12.13 立教大学)

19・20年度実施の現代GP体験ゼミ(新設)

吉野川体験教室(前期2単位集中・矢部)

吉野川の水環境と四国山地・阿賛山脈の成り立ち
四国山地の成り立ちと豪雨・斜面災害(前期2単位集中・西山他)

吉野川河口干潟における生態観察とその恵みについて(後期1単位・大橋他)

吉野川源流の森保全活動(後期1単位・三好)

徳島を知る、吉野川を通して 日本人の視点・留学生の視点 (後期2単位・上田<留学生センター>)



花のPATCHワーク始動 吉野川の善入寺島、ヒマワリ種まき

2007/04/29 10:16

吉野川市川島町の川島町商工会などが二十八日、吉野川の中州・善入寺島を花で飾るPATCHワーク・プロジェクトを始動させた。協力してもらえる耕作者を数年かけて増やし、観光振興にもつながるようなカラフルな景観を生み出す。第一弾として徳島大学の学生がヒマワリの種をまいた。



「ごみゼロ」イベント 小松島西高生と徳大生、23日阿南で

2007/09/14 10:43

小松島西高校の生徒と徳島大学総合科学部の学生が、二十三日午後二時から阿南市のアグリあなんスタジアムである四国アイランドリーグ・徳島インディゴソックス(IIS)の試合で、観客に環境問題への意識を高めてもらうイベントを企画している。



未整備山林の間伐体験

チェーンソー体験

間伐(伐採)体験



休耕地(棚田跡)に対する植樹活動



冬を越すため根元に
糞を敷いておきます。
堆肥にもなります。

とにかく徳島と源流域の高知、特に中山間地域が元気になることが必要！

行政頼みだけではダメ！

個々に元気な人や団体は確かにいる！

「持続可能な社会」を形成するために、地域同士が手をつなぎ交流するネットワークが不可欠

持続可能な環境を指向する共生社会の構築(過疎地=限界集落の維持発展)が望まれる

これからの環境教育

- 環境教育は教養教育、環境科学は総合科学である。
- 自然との共生や循環という精神の教育、こころの在り方を教える。
- 科学・技術・物質文明の限界を知る教育を。欧州はその限界を知っているが、日米は知らない。
- 物質文明における進歩や進化が全てではない。「真は新なり」で、精神文明は古くても価値は損なわれない。



ご清聴有難うございました
徳島大学総合科学部